



競輪事業の再興に向けて

14年度実施状況

来場促進プログラムの作成・実施
 ・地域住民の競輪に対する理解促進施策の一環として、岸和田競輪場の遊歩スペースのインターロッキング化及び緑化事業に対して事業支援を実施。

15年度の取り組み

場内滞在を楽しんでもらう環境の整備
 ・ミニイベント開催で場内活性化や飲食メニューのバリエーション強化等、安心できる観戦の環境の整備
 ・場内スタッフのスタイル化、接客サービスの向上やビギナーズスペースの設置等。
 在席投票(すわって投票)システムのモデル場導入

14年度実施状況

自転車競技者層の拡大
 ・指導者の育成、愛好会練習場の新規開設等の施策を通じて、自転車競技者層の拡大に取組んだ。

世界レベルの選手育成・強化策
 ・世界レベルのレーサー育成を目的として、WCCに、日本からジュニア競技者2名を派遣。
 ・CCCを修善寺のCSCに併設し、韓国を始めアジア諸国から延べ7ヶ国・計72名の競技者を受入れ、強化訓練を開始。

15年度の取り組み

愛好会の全国展開推進
 ・全国47都道府県の内、現在37都道府県、合計42ヶ所で開設されている愛好会を、15年度内に全都道府県に開設し活動する。
 競輪場の積極的開放
 ・場外発売時等において競技者が利用できるように、競輪場の積極的な開放に取り組む。
 アジアへの自転車競技の普及・啓発活動
 ・自転車競技の盛んでない国への指導者派遣、トラック競技への参加をアジアの国々に積極的に呼びかける。

14年度実施状況

新番組基本構想の実施とフォローアップ
 ・グランプリ選考基準をポイント制から賞金獲得額に。

15年度の取り組み

ルールの明確化と審判判定の情報公開の徹底
 ・審判判定映像の場内TV公開(15.4~)
 ・わかりやすいルールのための競技規則見直し(15年度中を目的)

GP・G・Gの新聞紙面カラー化
 ・高松宮記念杯から実施予定。

ストーリー性・特徴を明確にするG・Gの選考基準の整備

快適さの提供

メダルへの挑戦-メダリストを目指して

わかりやすさの提供

お客様本位の魅力ある競輪の実現

14年度・競輪政策決定会議での取組事項(改善済)
 +
 15年度・取り組み事項

おもしろさの提供

便利さの提供

14年度実施状況

専用場外車券売場の設置推進
 ・14年度には、サテライト鴨川(6月)、サテライトこまつ(12月)がオープン。
 電話投票・インターネット投票のサービス改善
 ・インターネット投票開始。(14年4月)
 ・電話投票が新賭式対応可能に。(14年12月)
 ・電話投票の1日購入限度ベット数を200から999に拡大。(15年1月)

ナイター競輪の拡充
 ・14年度に、松戸、京王閣、四日市がナイターを実施し、ナイター実施場は計7場となった。和歌山、福井、久留米、佐世保、花月園はナイターの場間場外発売を実施。

15年度の取り組み

電話投票・インターネット投票のサービス改善
 ・電話投票の新賭式払戻金の情報案内サービス実施。
 ・インターネット投票対応の携帯電話の機種拡大。
 ・発売開始時間を午前10時から9時に繰上げ。
 ・大手検索サイトとの提携による、インターネット情報の充実。
 ・インターネット銀行との提携による、土日祝祭日の入出金等が可能に。(15年12月を目処)
 ・電話投票会員数とインターネット投票会員数の抜本的拡大と売上げ増加に向けての戦略立案、実施。

場外車券売場の設置推進
 ・戦略的事業計画の策定及びそれに基づく計画推進。

GP・G・Gを対象に全ての競輪場・場外車券売場で発売へ

開催時間の弾力化
 ・GP・G・Gを対象に第1レース発走時間を繰り上げ、レース間隔の設定の見直し等。

15年度の取り組み

新投票方式(新賭式)の拡充
 ・未対応の15場及び全サテライトが新投票方式導入へ。

ワールドグランプリの新設
 ・内外のトップ選手同士の戦いとして、既に実施されている国際競輪に新たに付加。

G 地上波実況中継の強化
 ・Gの地上波実況中継を放映。各G毎に特色あるCFを制作。

各種イベントの実施
 ・イベントを通して、競輪を身近な遊びの一つとして認知させる機会の拡大を図る。

イメージキャラクターの起用
 ・イメージキャラクターの起用によるCF展開を図り、競輪に関心を向けさせる。

全国共通ポイントカードの強化
 ・全国共通ポイントカード利用者へのサービス強化、顧客分析の徹底。

14年度実施状況

新投票方法(新賭式)の拡充
 ・14年度中に32場が新賭式を導入。電話投票、場間場外発売についても、12月24日から新賭式対応へ。

競輪演出の改善
 ・14年度は3場のリニューアル事業に対するの支援を実施。(平塚・四日市・小倉)

全国共通ポイントカードの採用(14年10月~)
 ・全場に全国共通のポイントカードシステムを導入。現在約53,000名の会員。